

● 令和5年度 第4回 講演会 『子どもの慢性消化器疾患』 ●

講 師：広島大学病院 小児科 土居 岳彦先生

実施日時：令和5年10月18日（水） 14：00～15：30

会 場：オンライン開催（ZOOM）

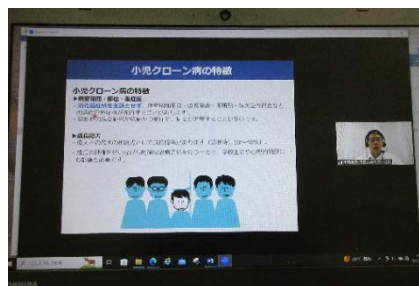
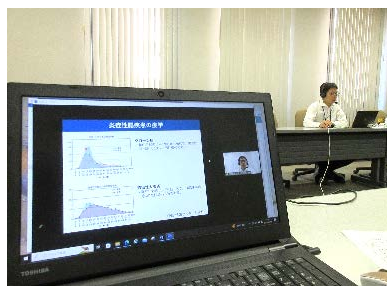
対 象 者：消化器疾患（潰瘍性大腸炎とクローン病）の子どもの家族、
支援関係者、関心のある方

参 加 者：家族5名、保健師1名

担当：東部保健所福山支所

● 講演内容

- ① 小児期発症炎症性腸疾患について
クローン病、潰瘍性大腸炎
- ② 小児期発症炎症性腸疾患と食事療法
エレンタール
- ③ 広島県内の小児炎症性腸疾患の診療体制
広島大学病院 IBD センター
- ④ 日常生活と学校生活で気をつけたいこと
日常生活の注意点、学校生活の注意点、保護者が心がけておきたいこと



● アンケート結果より

＜参加された方の感想＞

- 「子どもと向き合ってる生活に少し自信が持てたり、日常生活や学校生活での具体的な対策方法を拝聴できました」
- 「ずっと付き合っていかなくてはならない病気であり、薬剤に二次無効などがある事から、薬が効かなくなったら次の手があるのだろうかと不安」
- 「新薬はどうしても成人から治療指針が確立していきやすいとは思うが、いずれ可能性のある新薬や治療法があれば、そのようなお話も聞きたい」
- 「ご家族とお話をするときに心に留めておきたいことなど、とても参考になった」

● 相談員より一言

今年度4回目の講演会となりました。講師からは疾患や治療、日常生活に関する事まで分かりやすい説明と事前質問にも対応した内容のお話もあり、参加の方々に満足いただける講演となりました。炎症性腸疾患の講演会は初めての開催でしたが、発症が増加傾向にあるとの説明もあり、今後も開催していきたいと思っています。

